

## ～巨大スクリーンに感動の名作～ iichiko グランシアタに350人

9月14日(土)、15日(日)の両日、iichiko 総合文化センター・iichiko グランシアタで「雨に唄えば」と「シェーン」の映画上映会を開催しました。主催は大分市中心部の商店街やまちづくり団体、県、オアシスひろば21を構成するNHK大分放送局、オアシスタワーホテル、大分県芸術文化スポーツ振興財団ら14団体で組織する「大分県芸術文化ゾーン創造プロジェクト実行委員会」。iichiko グランシアタが利用されていない日を活用しての企画でした。

映画は、1日に2作品を2度ずつ、2日間で計8回の上映となりました。iichiko グランシアタの巨大スクリーン(20m×10m)に映し出される名作を、延べ350人の方々にお楽しみいただきました。



ここでは当日、会場で行いましたアンケートの一部をご紹介します。



- ・「雨に唄えば」は見ていて楽しくなりました。古典映画を見るのもたまにはいいなと思いました。(10代女性、宇佐市)
- ・今回のテーマは、アメリカの都会と田舎でそれぞれ頑張っている人たちの物語。連休でしたが、遠出ができないなかで、時間旅行の気分で楽しかったです。(20代女性、大分市)
- ・上映時間が昼間でちょうどよく、昔のアメリカ映画に触れることができよかったです。これからも企画をお願いします。(40代女性、大分市)
- ・娘と名画を見れて良かったです。これからも文化発信をお願いします。(40代男性、宇佐市)
- ・ミュージカル万歳！素晴らしい企画です。これからも続けてください。(40代男性、大分市)
- ・ミュージカル「雨に唄えば」。役者の歌とダンスの技術力がすごい。まさにエンターテインメントだった。(50代男性)
- ・「雨に唄えば」は、DVDで何度も見ていますが、大きな画面で見るとまたとてもステキでした。これからもこんな機会をセッティングしてください。次は友だちを誘って行きます。(50代女性)
- ・入場料が安く、懐かしい映画でとても嬉しく思います。ミュージカルが好きなので待っていました。スタッフの皆さまの心づかいがトモ好印象でした。(60代女性、大分市)
- ・子どもの頃、「シェーン」を見て、アラン・ラッドが大好きでした。今回、また逢えて大変嬉しく思いました。(60代女性、大分市)
- ・約50年前に映画館で、テレビでも何度か見ていましたが、久しぶりに大きなスクリーンで見ることができました。懐かしさと過ぎた時間を感じました。(70代男性)
- ・「シェーン」を15歳のときに見て、アラン・ラッド、ジャック・パランの拳銃の早撃ちが心に残っていました。いま70歳で見たときに、いろいろな場面で涙が出てきました。(70代男性)

今後も映画上映を開催していく予定ですので、楽しみにお待ちくださいね♪